

福井市議会議員 浦上はやと議会報告

Uragami Hayato
NEWS
vol.11



みなさん、こんにちは! 福井市議会議員の浦上逸人です。

今回の9月議会の一般質問では、約千名の福井市民の方々にご回答いただいた「市民意識調査」をベースに、質問や提言をしました。

調査結果の悪かった項目や分野は、市民の方々の評価であり、不安の表れでもあります。その内容を検証し、本質的な課題解決に取り組む必要があるため、本質的な課題解決に取り組む必要があります。評価の低かった「**中心市街地**」、「**福祉**」、「**防災**」について今年度の事業の進捗についての質問や、今後の事業の方向性への提言を行いました。

浦上はやと議会報告vol.11では、9月議会の議会活動などについて報告いたします。

特集 避難所について

福井市では、小学校などを避難所として指定していますが、避難所に行くことだけが避難ではありません。安全な場所を事前に検討、確認しておきましょう。

福井市指定避難所・避難場所はコチラからチェック! >>>



空調設備

避難所となる小学校など(47校)へ設置。

R7予算(繰越)→10校
R8予算 →10校

今後も、財政状況を踏まえ、順次設置していく予定。



マンホールトイレ

避難所47校中、37校に設置済。

今後も、財政状況や設置予定の下水環境などを踏まえ、順次設置していく予定。



備蓄品 ←今回、質問(次ページ参照)

「※基本8品目」を中心に、拠点備蓄施設(市内に8カ所)から各避難所への備蓄品の移設を進めていく。

「※基本8品目」被災者の命と生活環境に不可欠とされる国が定めた物資

- | | | | |
|----------|---------------|------------|-------------|
| 1 食料 | 2 毛布 | 3 乳児用粉ミルク | 4 乳児・小児用おむつ |
| 5 大人用おむつ | 6 携帯トイレ・簡易トイレ | 7 トイレ用ペーパー | 8 生理用品 |



▲防災ステーション(土橋町) [拠点備蓄施設の一つ]

災害に備え、物資の備蓄や生活環境の整備など適切な避難所の確保が進むよう、これまで議会で指摘してきた課題の進捗を注視してまいります。また、市民の皆様からのご意見を伺い、引き続き必要な取組や予算を議会で提案してまいります。

中面には浦上はやとが市議会で質問・提案した内容を掲載しています

主な議会スケジュール 【令和8年9月～12月】

- 9月**
9月定例会
・一般質問・常任委員会
・予算特別委員会
- 10月**
県外行政視察
(常任委員会)
- 11月**
決算委員会
議員全員協議会
- 12月**
12月定例会
・一般質問・常任委員会

浦上はやと 日々の活動

【令和8年6月～8月】



市民の方々から連絡をいただいた道路の損傷などの補修・改修を要望し、実現しました。



▲「速度落せ」の設置 ▲段差解消工事 ▲道路の打ち替え
▲道路補修① ▲道路補修② ▲下水道管取り換え工事
▲路側帯の白線の引き直し ▲グレーチング廻りの補修 ▲街路樹の伐採
伐採前 伐採後

毎朝の『見守り活動』や『清掃活動』の他、地域行事などに参加し、市民の方からのご意見やご要望などをヒヤリングしています!



▲公園清掃 ▲ラジオ体操 ▲夏祭り① ▲夜回り ▲夏祭り②

「前向きに、丁寧に、謙虚に」をモットーに、ひとつひとつ着実に行動してまいります。引き続き皆様からの声をお聞かせください。日々の活動は、FBなどのSNSをご覧ください!

浦上はやと事務所

〒910-0022 福井市花月5-1-42



☎ 090-9447-2951
✉ info@uragamihayato.com

Facebook Instagram X 浦上はやと



公式ホームページ

浦上はやと プロフィール

- 1975年生まれ 福井市花月在住
- 京都府立大学大学院 農学研究科 修了(農学修士)
- キンビール株式会社
- 福井市役所 [農政企画課→マーケット戦略室(現:商工振興課)→東京事務所]
- 早稲田大学大学院 政治学研究科 修了(公共経営修士(専門職))
※地方行政実務学会に所属し、行政学・地方自治について実践的に研究
- 家 族/妻と娘2人
- 趣 味/マラソン(フルマラソンで3時間切り「サブ3」を3度達成)
スポーツ観戦、読書、DIY

議会では、市民の方々から伺ってきた話を基本とし、全国の自治体の政策を調査研究した上で、『市民目線に立ち、実現して欲しい事』や『中長期的に取り組んでもらいたい事』などを質問・提案してまいります！

9月・一般質問



1. 市民意識調査の結果について

問題意識 約千名の方から回答を頂いた大規模調査であり、その結果は総合計画だけではなく来年度の施策や予算に取り入れていくべき！

『市民意識調査』で評価が悪かった項目と分野

前回調査(R5)と比較して、評価が下がった項目と分野(統計な有意差のあるもの)

【項目(53項目中、2項目)】

『うるおいと個性あるまちづくり』(中心市街地)
『火災等から人命財産を守る』(防災、安全・安心)

【分野(14分野中、2分野)】

『福祉』
『防災、安全・安心』



Q:第9次総合計画のKPI(達成目標の数値)の策定方針は？

A:(総務部長) 市民サービスの向上や地域課題の解決といった成果に着目した指標とし、毎年度の達成状況を公表するなど進捗状況の見える化を図っていく。

Q:ウェルビーイング指標を導入してはどうか？

ウェルビーイング指標って何？

統計データなどの客観的な数値に加え、アンケートで測る市民の「幸せの実感(主観)」を合わせて評価する方式。

A:(総務市長) 第9次総合計画の進捗管理に直ちに導入することは困難だが、活用を検討したい。👉 今後に注目！



2. 中心市街地について

問題意識 財政的に支出が大きい中心市街地に関わる指標「うるおいと個性あるまちづくり」が大きく下がった事は検証する必要がある。

Q:『ヨリバ』の現状と今後の方向性、また、市としての支援は？

『ヨリバ』とは？

市が整備を支援したまちづくり福井株式会社が運営する足羽川沿いにあるアクティビティ拠点施設



A:(都市政策部長) 現在は営業休止中であるが、リニューアルオープンに向けて準備が進められている。運営事業者であるまちづくり福井や県と連携し、利用促進につながる取り組みについて協議を重ねていく。

Q:『県都まちなか再生ファンド』の現状と課題は？

『県都まちなか再生ファンド』とは？

県と市がそれぞれ12億円を拠出し、改修費用の3分の2、最大2億円を補助する支援制度。今年が計画の最終年度であるが、来年度以降も継続する方針。

A:(都市政策部長) 中央一丁目の空き店舗率が過去最低になるなど、一定の成果があった。しかし、地権者との合意形成に時間を要するなど課題もあった。

Q:次年度以降のファンドの運用方針は？

A:(都市政策部長) ①支援の上限額の引き上げ、②新たなエリア(駅東側)の追加、③建物の建て替えや改修の重点エリアの設定、④専門家による事業コーディネート費用への支援の4点を見直す。

Q:『学生どまんなかプロジェクト』の進捗と、『個性あるまちづくり』への貢献については？

『学生どまんなかプロジェクト』とは？

福井県立大学のキャンパスがアオッサに設置される事を契機として、シェアハウスを整備し、学生支援人材を配置。

A:(副市長) 今月から「地域おこし協力隊制度」を活用し、プロジェクトマネージャーを設置した。また、学生シェアハウスの整備支援や福チャリの利用拡充など事業化が進んでいる。学生と地域、企業との繋がりを生み出し、街中を起点に市内全域の活性化につなげていく。

👉 今後に注目！

3. 福祉について

問題意識 市民意識調査では、福祉分野の評価が悪かった。市として主体的に福祉の施策に取り組むべき！

Q:当市の在宅介護サービスの現状と課題は？

A:(福祉健康部長)

【現状】 介護人材の不足や従事者の高齢化、物価や人件費の上昇などに伴い、介護事業所を取り巻く環境は厳しさを増している。また、高齢者世帯や認知症高齢者の増加に伴い、介護サービスに加えて見守りや生活支援など複合的な支援を必要とする方も増加している。

【課題】 必要なサービス量の確保、多様化するニーズに対応できるサービス提供体制の維持と介護人材の確保、定着。

Q:介護人材の確保・定着について、現在の取組と今後の方向性は？

A:(福祉健康部長)

【現在の取組】 事業者や関係団体との意見交換で把握した課題を、国や県へ要望している。介護現場の負担軽減を図るための業務効率化や、外国人介護職員の定着支援のための外国人介護職員の集いを開催している。

【今後の方向性】 県との役割分担を踏まえながら、本市としてのさらなる取組についても検討をしていく。

Q:『こどもホスピス』について、来年度策定予定の地域福祉計画に盛り込むべき！

『こどもホスピス』とは？

病気により命を脅かされているこどもに対しての様々な取組(療養中のこどもとご家族が安心して過ごすことができる滞在場所の運営など)

NPO法人ふくいこどもホスピスの活動

1. 重い病気と闘う子どもたちとそのご家族への支援

- ① 家族会の開催
- ② 遊びや学びの体験(福井大学病院小児病棟にて)
- ③ 付き添い入院中のご家族への手作り弁当の差し入れ

2. お子さんを亡くしたご家族への支援(グリーフケア)

月に一度のお話会の開催

3. こどもホスピス支援の普及

シンポジウムや講演会 など



A:(福祉健康部長) まずは、本市として果たすべき役割や支援のあり方、具体的な取り組みの方向性について十分検討する。

Q:『こどもホスピス』の常設施設の設立や活動内容への支援は？

A:(子ども未来部長) 広域的な取組が重要であることから、県が実施している支援事業の状況を注視しながら、団体からの相談に丁寧に対応していく。👉 今後に注目！

4. 防災・安全安心について

問題意識 市民意識調査で評価の悪かった消防や防災について、市民の意識を向上させる取組を行うべき！

Q:消防は、防災倉庫の点検など地域防災により積極的に関わるべき！

A:(消防局長) 地域防災活動への参加促進や消防に触れる機会の充実、情報発信により、市民の皆さまと消防とのつながりを深め、地域防災の更なる強化に努めていく。

Q:防災ステーションなどの拠点備蓄施設の備蓄を各避難所に移設するなど、各避難所の備蓄について見直すべき！

A:(危機管理監) 18校の避難所に備蓄品を移設する計画をしており7校が実施済。他の避難所についても、協議を進めている。



建設委員長報告



7/31に近畿地方整備局(大阪)、7/30に国土交通省(東京)を訪問し、福井駅周辺、道路、河川などインフラ整備への国の財政支援を要望しました。河川や道路などの各種の期成同盟会の総会に出席しました。

